



# 陽光

Vol.9  
通巻 78号



## 「居場所」の大切さをユーザーとともに伝え続ける

光風会ではこれまで、市のデイケアへユーザーと話に行ったり、薬局にパンフレットを置かせてもらうなど、地域活動支援センター（以下、地活）の情宣をしています。就労支援事業所や生活訓練・生活介護の事業所に通うのと併せて、「地活」も「居場所」として使えることをアピールし続けています。

それでもユーザーは増えていません。「なぜだろう？」とスタッフ内でも度々話題にのぼり、「計画相談支援事業所や就労支援事業所のスタッフに『地活』の存在をもっと知ってもらおうとよいのではないか」という結論に至りました。

そこで今回のオープンデイは、障害者の事業所や関係機関に「地活」を知ってもらおうと開催しました。なるべく多くの方に来ていただくことを考え、勤務の時間内に来られる平日に活動報告会を設定しました。期間中の来館者は下表のとおりです。決して多くはありません。数字には表れていないことですが、来館してくださった方々とゆっくり話をする時間が持てました。2頁目より、その様子を紹介します。

「就労系の事業所で疲れてしまっていて休む場のない人がいるので、光風会を紹介したい。今までも来たいと思っていたけれど、今回来られてよかった。」と、来館した相談支援事業所のスタッフが話していました。この言葉を聞き、オープンデイを開催してよかった、と感じました。来館者にはその他、多くの感想をいただきました。感謝いたします。

時期を同じくして、前理事長とつながりがあり光風会の賛助団体でもある、株式会社化研さんより非常食の寄贈がありました。オープンデイ初日に贈呈式を設定しました。茨城新聞社の取材も入りました。

今回、福祉行政関係者の来館がなかったことは今後の課題ですが、来館された方とじっくり話ができたと収穫です。 (編集子)

表：開催中の来館者延べ人数

(人)

場所 月日	笠間			水戸		
	陽(yoo)	光(KOO)	風(FOO)	空(COO)	本部	窯(YOO)
1/25 (木)	1	1	7	0	0	1
1/26 (金)	9	9	1	1	1	
1/27 (土)			1			1
合計	10	10	9	1	1	2